

家庭用の簡易なクルマや教育玩具、自動車のエンジン、トローラー、薬の飲み忘れを防ぐアラーム。会社設立から20年がたち、アイン応用

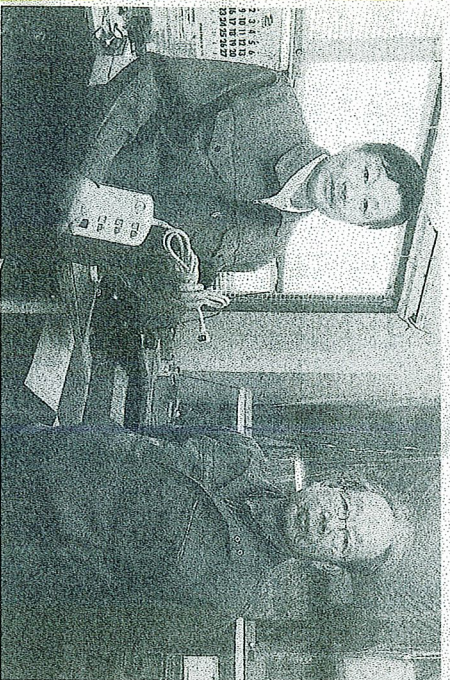
ぐんま 企業探訪

— ③ —

アステック（伊勢崎市境島村）

自社製品強化に注力

電子機器から医療用具 思った」と経緯を説明する。今まで積み重ねてきた技術のノウハウを手掛けてきた。新たな取り組みとしてを生かすつもりだ。て、人々の高齢 開発に際し、県の特許、生活を手助けする、会話機能の付いた発推進補助金」を活用癒やし人形の開発を始め、次世代産業推進型に採択された。人形が昨年、大手玩具メーカーが製造する人形の橋上科大システム生体改良を手伝ったこと工学科と連携し、言葉で、人形の構造や製造 遣いや内容、回数からについてのノウハウを受ける脳波の変化や癒学んだ。田島電友会長やし、心理的影響など（8）は「お年寄りが規則正しく健康的に暮らせるよう、援助する新掛けの方向性を見極めしい人形を作りたいと



自社ブランド製品の拡大を目指す
後藤社長（左）と田島会長

を注いで取り組みたい」と意気込む。相手先ブランドによる生産（OEM）製品は、社長として最初に力げなどの影響が相次いで大きく左右する。自社ブランド製品を増やすことが現状の課題だ。OEM製造と並行しながら、新しい製品開発を提案するアイデア会議を開いたり、自社のホームページ上で製品のアイデアを募集したりして、自社ブランド製品をつでも多く立ち上げていく。後藤社長は「培ってきた技術を追究し、さらに幅を広げて展開していきたい」と話す。

企業データ
1996年設立。資本金1000万円。マイコン応用電子機器開発、設計、製造および医療用具を製造。従業員15人。

住友生命 研究・執行役員 2日、新任で前橋市古新聞社を訪男会長と懇談チャネルを人との接点加入につな抱負を話マイコン様化によつへのニーズ、長澤は、など動け、場合の保障に、新商品を発表したと、独身の加点を紹介。インギモール出で、さまざま

12年4月に発売し、2万枚ほど出荷した。量産化に向け、約3500万円を投じて、市吉町の前橋商工会議所会館で開かれた。シニアが2日、前橋主催のTEP協定活用を把握して海外展開の久保川信雄氏は、農林水産物と食品の輸出も「坂本が期待できるとした。TPP発効をビジネスチャンス拡大の好機と捉え、海外への市場展開を考える県内企業を後押ししようと、同商議所と同法人会が企画した。



合意の概要を説明する
U・I・ターン就職で説明会
県、12日、東京・新宿エルタワーで合同企業説明会を開く。ため、県は12日、東京・新宿エルタワーで合同企業説明会を開く。来春卒業予定の大

「若者と盛増やした盛